

# 現業協だより 号外

福島県職員連合労働組合現業協議会 2021.12.9

## 2021 現業協人員・賃金確定交渉を実施！

11月16日(火)県庁正庁で2回目の人事総室交渉が行われました。2回目は賃金に関する要求について重点的に交渉をしましたが、交渉と言えるものではありませんでした。差別的とも言える幾重の較差については是正を求めましたが、全く聞く耳を持たない回答に終始し時間切れに持ち込む例年通りの交渉となりました。ただし、集中化運転手の配置について来年度から話し合いの場を設けるという回答を引き出しました。

今後は法律に則った労使交渉に向けて継続中の当局との話し合いを進めていきます。

### 2021 年役員体制

|     |      |       |      |
|-----|------|-------|------|
| 会 長 | 田中光一 | 副会長   | 草野浩仁 |
| 副会長 | 菅野人司 | 事務局長  | 小林祐一 |
| 〃   | 小林 淳 | 事務局次長 | 二瓶正則 |

- 現 業： 賃金について、さまざまな賃金削減により生活が苦しいという組合員が出てきている。これは生計費としても限界である。給与そのものに手を加えづらいうなら、昇給の仕方や一時金の傾斜配分、年齢別最低保障基準などの手当で改善をして欲しい。
- 人 事： 復興業務がまだまだ必要であり、大規模な財政需要に対応するために、厳しい財政運営が見込まれる。今後も業務の簡素効率化や人員の適正配置が求められる。
- 現 業： 予算が厳しいのであれば、なぜ直営よりも高い民間に道路パトを委託している？それはおかしいのでは？県民が納得するのか？
- 人 事： 費用対効果からすれば問題ない。現段階での改善は難しい。
- 現 業： 現業職員の再任用賃金については、再任用後も何も職務内容が変わっていない。再任用賃金については5級を要求する。
- 人 事： 非現とのバランスもあり、交渉で決めたことなので現状のままをお願いする。
- 現 業： 3月31日と4月1日の職務内容、責任など一切変わっていない。非現とは全く違う状況である。職務給の原則からしてもおかしい。5級を要求する、その為の交渉だ。
- 人 事： 非現で再任用主任主査が4級で現在交渉中である。3級のままをお願いする。
- 現 業： 集中化運転手の話し合いを始める時期はいつになるか？
- 行 経： しかるべき時期が来たら。
- 現 業： まだ、3割になっていないという事か？
- 行 経： まだなっていない。
- 現 業： 何年になる想定なのか？話し合いを始めるのは来年か？
- 行 経： 来年度以降話し合いを始めたい。
- 現 業： 現場は現業職員が欲しいと言っている。その数が296名配置要求である。きちんと現場の声を聞いて、まず現場を支える現業職員を増員して欲しい。
- 行 経： 話は聞く。まずは、それぞれの部に話しをして欲しい。

※内容はやりとりを一部抜粋しました。